

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃげきだんども			団体ウェブサイトURL
制作団体名	有限会社劇団銅鑼			http://www.gekidanora.com
代表者職・氏名	代表取締役 横手寿男			
制作団体所在地	〒	174-0064	最寄り駅(バス停)	上板橋駅
	東京都板橋区中台1-1-4			
電話番号	03-3937-1101			
ふりがな	ゆうげんがいしゃげきだんども			団体ウェブサイトURL
公演団体名	有限会社劇団銅鑼			http://www.gekidanora.com
代表者職・氏名	代表取締役 横手寿男			
公演団体所在地	〒	174-0064	最寄り駅(バス停)	上板橋駅
	東京都板橋区中台1-1-4			
制作団体 設立年月	1972年8月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 横手寿男 取締役 鈴木瑞穂 運営委員 館野元彦 平野真弓 竹内奈緒子 亀岡幸大 齋藤裕樹 監査 福田悦雄		(1)主な構成員 団員60名 構成員補 1名 団友3名 (2)主な構成員 山田昭一(演出家・俳優)菊地佐玖子(俳優)小関直人(作家) (3)加入条件 構成員として一定の期間を終了したもの	
事務体制(専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く		本事業担当者名	齋藤裕樹
経理処理等の監査担当の有無	有		経理責任者名	佐久博美

<p>制作団体沿革</p>	<p>1972年 劇団民藝出身者を中心に演劇集団として活動を開始。 1990年 本拠地を板橋区に移す。 1994年 初の海外公演実施(ロシア)、以来国際交流事業を一つの柱にする。 1995年 板橋区文化振興財団(現・(公財)板橋区文化・国際交流財団)との年一回以上の共催事業を開始。 2005年 若者自立塾などにおける演劇によるワークショップ事業開始。 2012年 稽古場を建設。劇場認定を受ける。</p>					
<p>学校等における公演実績</p>	<p>1978年より青少年公演開始。主な作品に『センポ・スギハアラ』『明日への出発』など多数。年間50～100回学校で上演を続けている。提出作品『いのちの花』は2018年より小学校・中学校合同公演や高等学校公演、全国おやこ劇場子ども劇場例会として上演。 また令和元年度～3年度には文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業- 令和4年度には文化芸術による子供育成推進事業-巡回公演事業-として選定されている。</p> <p>主な学校公演作品 『明日への出発』『センポ・スギハアラ』『Big brother』『エイジアン・パラダイス』『らぶそんぐ』『チャージ』 『ハンナのかばん』『いのちの花』</p>					
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>多数作品で、特別支援学校で上演。事前に資料・台本などの配布で対応。盲学校に対してはイヤホンガイド付き公演、聾学校では学校と共同で字幕作成を実施。</p> <p>舞台手話通訳付き公演の実績あり(公開資料動画)</p>					
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>				
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=XS6VpKVrd_Q</p>				
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="933 1601 1005 1646">ID:</td> <td data-bbox="1005 1601 1437 1646"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="933 1646 1005 1680">PW:</td> <td data-bbox="1005 1646 1437 1680"></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:						
PW:						

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 有限会社劇団銅鑼】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	劇団銅鑼公演『いのちの花』		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>「いのちの花」</p> <p>原作:向愛実著「いのちの花」(株式会社WAVE出版) 瀧 晴巳著「世界でいちばんかなしい花 それは青森の女子高生がペット殺処分ゼロを目指して咲かせた花」(ギャンビット刊)</p> <p>脚本:畑澤聖悟 演出:齊藤理恵子</p> <p style="text-align: right;">公演時間 100 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名 原作使用料
	該当事項がある場合	権利者名 向井愛実・瀧晴巳	許諾確認状況 使用(上演)許諾取付済
演目概要	<p>青森県三本木農業高校。その敷地面積は東京ドーム11個分！！ その広い広い大空の下、希望に胸を膨らませて動物化学科に入学したマナミたち。糞の匂いこやられながらも家畜たちの世話に励む日々。そして飼育しているニワトリを実習で解体し自分たちで食べる。「いただきます」という言葉の意味を考える。そして東日本大震災―― ある日、見学に訪れた動物愛護センターで、殺処分された動物たちの骨が「ゴミ」として捨てられていることを知る―― 自分たちに出来ることはないだろうか？ 声を上げることも出来ずに死んでいった動物たちの「いのち」 彼女たちは、動物たちの骨を使って花を咲かせ、蘇らせることを思いつく。 名付けて「いのちの花プロジェクト」 彼女らが咲かせた花を受け取ってくれる人はいるのだろうか？</p> <p>感動の実話の舞台化。 舞台上には実際には動物は登場しません。イメージできるように、映像を舞台装置に投影します。 脚本は、高校演芸会の第一人者であり、数多くの劇団に話題作を提供し続ける現役高校教師・畑澤聖悟。演出には劇団青年座の新進気鋭の演出家・齊藤理恵子を迎え、疾走する5人の女子高生の物語をお届けします。</p>		
演目選択理由	<p>ペットの命・家畜の命・人間の命……いのちってなんだろう？ 一人一人の命・一つ一つの命はとても尊くて重い。 それは誰もが、あたりまえのことと思っているはずですが。 でも、それは本当にあたりまえのこととなっているのでしょうか？</p> <p>いのちってなんだろう？</p> <p>この難しいテーマを高校生たちが考え起こした行動は多くの人に波紋を投げかけました。この舞台を通して、動物殺処分や動物のいのちだけではなく、自分のいのち、人のいのち、生きとし生けるものの「いのち」のことを考えてもらえるきっかけになればと思います。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>公演のラストシーン近く、高校生たちが客席に向けて「いのちの花」を受け取ってくれる人を探します。その時客席から事前ワークショップを経て、舞台上に上がって花を受け取ってもらい、客席に戻って行きます。よって出演シーン以外は、客席から観劇していただけます。 また、公演当日のリハーサルの中で、バックステージツアーも行います。 他に搬入搬出のお手伝いなどを通じて、俳優・スタッフたちとの交流も出来ます。 終演後に出演者1～2名と座談会も可能</p>		
出演者	馬渕真希・佐藤響子・野内貴之・池上礼朗・北島愛美・中島沙結耶・佐藤凜・齊藤美香・山口真実・鈴木裕大 ※上記俳優は予定です		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 10 名 スタッフ: 11 名 合計: 21 名	運搬	積載量: 4 t 車長: 8.8 m 台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		有		前日仕込み所要時間		5		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出			
	8時	8時～13時 ※11時過ぎ出演児童リハーサル(授業1コマ分)		13時30分～15時10分	0分	15時30分～16時45分	17時			
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。									
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月	8月	9月	10月					
	0日	0日	0日	10日	0日					
	11月	12月	1月	計		45日				
	15日	20日	0日							
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。										
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			共演人数目安		30名(花を受け取る生徒数)				
				鑑賞人数目安		500名				



(図1) 体育館ステージに舞台を設置した状態。
上下に照明機材あり。

舞台設置に必要な面積

奥行5.4m以上(張り出しなし)

3.8m～5.3m(張り出しあり)

※3.8m以下の場合(図2)の平土間での状態になります。

間口10m以上



(図2) 平土間(体育館フロア)設置の状態
(図1) 同様上下に照明機材あり

ステージ前～5.4mを芝居で使用。

そこから2mの間隔を取って着席頂きます。

搬入時の注意点

体育館に大道具を搬入するに当たって

扉を解放した状態(図3)で対角線の長さが2.5m以上必要。※2.5m以下では搬入不可

最大パネルサイズ 縦2.4m 横3.45m 厚さ4cm

機材カーゴサイズ 高さ171cm 奥行80cm



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	30人
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>基本形(100分)</p> <p>①自己紹介～シアターゲーム(15分) 簡単な自己紹介のあと、1つか2つシアターゲームを行います。 ゲームを通してお互い顔見知りになることを目的にしています。</p> <p>②③グループトーク(30分) 児童生徒さんに飼った経験のあるペットの写真、または絵を持参してもらいます。将来飼いたい と思っているペットや虫も可。想像上の動物、絶滅してしまった生き物でも結構です。 動物飼育経験の共有を目的にしています。ペットの名前・エサ・飼育場所・散歩場所・チャームポ イント・失敗談など、動物に関する色んなお話をしたいと思います。</p> <p>③休憩5分</p> <p>④作品づくり(30分) 劇団員による寸劇を観てもらいます。その物語の続きを話し合い、静止画として表現してもらいま す。 いくつかのグループに分かれて作品をつくり、最後に発表を行います。 寸劇は動物に関する内容になっており、児童生徒さんに自分だったらどのように解決するかを自 自由に発想してもらい、表現につなげます。</p> <p>⑤⑥「いのちの花」トーク(15分) 作品の説明、及び動物の殺処分についての説明を行います。 俳優が演じる短いシーンを観ることで、動物の殺処分について知った登場人物たちが、どのよう な活動を始めたのか等、作品についての理解を深めます。また公演当日に出演するシーンにつ いての説明を行います。</p> <p>⑥質疑応答(5分)</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>ペットを飼う事、ペットと人間の関係について考える機会を作ります。そこから発展して、ペットだ けでなく、自分たちが食べている動物や、植物や人間も含めたたくさんの命について考える機会 を作ります。 公演時には演技だけではなく、自然な気持ちで『いのちの花』を受け取れるようになります。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>特になし</p>		